

電気通信大学留学報告書

氏名：菅原 優史

所属（留学開始時）	基盤理工学専攻 学年：修士 1年
留学先大学	ダルムシュタット工科大学（国名：ドイツ）
所属学部・学科等	工学部 物理化学科
留学期間	2024年 5月 10日 ～ 2025年 4月 28日

1. 留学の動機、この大学を選んだ理由など

幼い頃からの海外への憧れを実現するため、大学院進学を機に留学を決意しました。留学先の選定にあたっては、大学間の協定校リストから選ぶのではなく、自分の専門分野において高いレベルの研究を行っている研究室を自らリサーチしました。その結果、ドイツのダルムシュタット工科大学の研究室を見つけ、教授に直接メールでコンタクトを取り、交渉の末に受け入れの承諾をいただきました。「行ける大学」ではなく「行きたい研究室」を自力で開拓することにこだわりました。

2. 留学前の英語等外国語学習の方法、語学試験の受験状況など

語学試験の受験状況：TOEIC 710点

学習方法：出発前に特別な語学学習や準備は行いませんでした。現地での研究活動を通じて、実践的な英語力を向上させることに重点を置きました。

3. 渡航について

ビザについて	ビザの種類： 学生ビザ 申請先：ドイツ(現地)
	申請時期、申請方法、提出書類、アドバイス等： 協定校留学ではなかったため、後ろ盾がなく手続きには大変苦労しました。在日ドイツ大使館では申請が受理されず、現地到着後に申請を行いました。予約取得すら困難な状況でした。日本で申請ができる状況であれば、絶対に日本でビザを取得してから渡航することを強く推奨します。
	申請から取得までに要した日数： 250 日程度
出国年月日	2024年 5月 10日
往路経路（空路）	成田→上海→フランクフルト
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有（具体的に： ） <input type="checkbox"/> 無（具体的に：全くなし）
現地でのオリエンテーション実施状況・内容	個人での研究留学のため、オリエンテーション等はなし

4. 費用について

差支えない範囲でおおよその費用を教えてください。 ※内容は自由に変更可

内容	金額	内容	金額
航空券代/往復	160000円	教科書代等	0円
保険代	300000円	食費	30000円/月
ビザ代	20000円	住居費	80000円/月
予防接種代	0円	その他	円



7. 健康管理、周辺の治安など

留学先での健康管理、衛生面等について注意すべきこと

特になし。水道水も飲めます

現地での医療事情

国民皆保険に加入

留学中の通院・入院の有無、医療費などについて差支えない範囲で教えてください

なし

留学にあたり、予防接種を受けましたか？

はい（種類・回数・時期： )

いいえ

大学周辺の治安や雰囲気

治安はかなり良好です。危険を感じることはほとんどなく、安全に生活できました。

その他、生活等に関して参考となる事項

物価は日本の 1.5 倍程度でした。

## 8. 留学を終えての感想、自分の変化、反省点など

先生から「理系留学の理想形」と言っていたくらい、振り返れば本当に欲張りで、最高に充実した1年でした。現地の研究室での活動はもちろん、留年しないための電通大のオンライン授業、大手企業への内定をいただくことができた就職活動、生活費を賄うための現地アルバイト、そして隙を見つけては出かけた20カ国への旅行。これら全てを並行して行う毎日は目が回るほど忙しかったですが、その忙しささえも楽しく感じるほど、毎日が刺激に満ちていました。

以前の受け身な自分とは違い、協定校ではない研究室へのアポイントから始まり、ビザ申請、資金調達、日々のスケジュールリングに至るまで、すべてを「自分」で決定し、実行してきました。誰かに用意されたルールではなく、自分の足で道を切り拓き、これら全てを自分の手でやり遂げたという事実は、「厳しい環境でも、自分ならなんとかできる」という揺るぎない自信になりました。この1年で得た経験と自信は、今後の人生を支える大きな財産です。

## 9. 留学を考えている学生へのメッセージ

「理系は忙しいから」「留年してしまうから」「お金がかかるし、就活もあるから」……。そんな「理系特有の不安」で、留学を諦めかけていませんか？ これらは確かにリスクですが、正しい戦略さえあれば、何も犠牲にすることなく全て解決できます。

「協定校に希望の研究室がない」という不安へ：リストになくても諦める必要はありません。私は行きたい研究室へ直接メールで交渉し、自分でポジションを確保しました。既存の枠にとらわれず、熱意と行動力で「行先」は自分で開拓できます。

「実験や必修があり、留年しそう」という不安へ：私は最も必修の対面実験が多いⅢ類所属ですが、それでも留年せずに1年間の留学ができました。単位を事前に多くとっておく準備と、留年しないタイミングを見極めることさえできれば問題ありません。

「金銭面と就活が心配」という不安へ：私は「奨学金＋現地アルバイト」で親の援助なしで資金を賄い、「オンライン就活」で現地にいながら大手企業の内定を勝ち取りました。

漠然とした不安も、分解して対策すれば「解決可能な課題」に変わります。既存のプログラムに乗っかるだけでなく、自分で道を切り拓く留学は、得られる経験値の次元が違います。ぜひ恐れずに挑戦してください

写真 数枚(4-8枚)程度

注：添付ファイル容量が10M以上になると電通大メールでは扱えません









